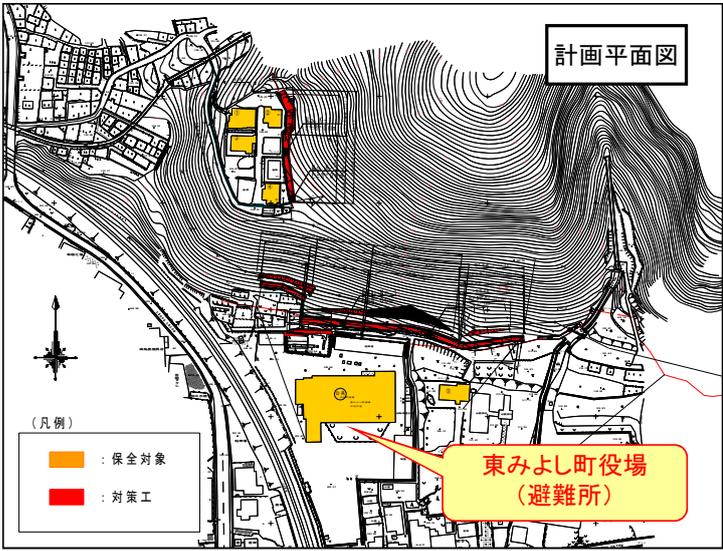


砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

担当課長名 酒井 彰彦

事業の概要

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	事業区分	急傾斜地崩壊対策事業(補助)	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好郡東みよし町屋間	箇所名	屋間急傾斜地崩壊危険区域		
事業概要					
重力式擁壁 L=158.9m, もたれ式擁壁 L=22.0m, 吹付法砕工 A=251.1m ² , 植生基材吹付 A=190.0m ²					
事業の目的・必要性					
当該箇所は、人家5戸を含むがけ高75m、勾配30°の急傾斜地である。保全対象には、災害時における防災拠点(兼避所)である東みよし町役場(三好支所)が含まれている。斜面は段丘堆積物で構成され、竹林を中心とした斜面状況である。このため、早急に人家を含む防災拠点を保全する必要がある。					
総事業費		142百万円			
事業概要図・写真					
 <p>施工箇所</p>		 <p>計画平面図</p> <p>東みよし町役場(避難所)</p>			
 <p>完成写真</p>					

事業評価結果

	評価項目	評価内容
事業効果等	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画工期H22~H26→実施工期H22~H27 着手時B/C=12.6→完成時B/C=12.9
	②事業の効果の発現状況	・擁壁の設置により、がけ崩れからの不安が払拭され、安全に暮らせる環境が整備された。 ・地域防災計画に記載された避難所である東みよし町役場が保全することで、防災体制の強化が図られた。
	③事業実施による環境の変化	法砕工選定部については、砕内に植生工を施工し、法面の安定と自然環境の保全が図られた。
	④社会経済情勢の変化	近年ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害による地域の安全・避難路を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。
	⑤課題と今後の事業への反映	災害時要援護者施設の保全や緊急輸送路の整備など、事業効果の高い箇所から重点的に整備し、災害時においても安全かつ安心できる生活基盤の確保に貢献する。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成22年	12.6	134	工事費、調査費	1,683	人家5戸、役場
	完成時	平成28年	12.9	176	工事費、調査費	2,278	人家5戸、役場

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。